

公益社団法人私立大学情報教育協会
2020年度第1回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和2年4月10日（金） 17：00～19：00

II. 場 所：Microsoft Teams ネット会議室

III. 参加者：斎藤委員長、笈アトバイヤ、大原アトバイヤ、玉田主査、児島主査、金子委員、
中西委員、本村委員、角田委員、阿部委員、渡辺アトバイヤ、久木田アトバイヤ、
小野アトバイヤ、光井アトバイヤ
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. 情報活用教育コンソーシアムの構築について

モデル授業の実施に向けて理解が進んでいないことから、関係教員が戸惑うことなく新しい授業モデルの導入・実施を支援する仕組みとして、意見交流の場をネット上に形成し、9月3日（木）の「私情協 教育イノベーション大会」で紹介を行うことにした。

構築の内容としては、①初年次向け反転授業を導入したビデオ授業ガイド、②初年次向けビデオ教材の例示、③専門科目と連携した情報活用教育のビデオ運営ガイド、④情報提供と意見交流の場を作成、掲載することにし、以下の検討を進めた。

(1) ビデオ授業ガイド、ビデオ教材の例示についての意見

- ・ 文書では理解が難しいと考え、ビデオで理解促進を図るプラットフォームとし、完成次第掲載し、意見を伺うことにした。
- ・ ビデオ授業ガイドは、作成済みのコンテンツ（授業シナリオ等）を使い、解説を行うものとする。また、パーツ単位での提供を考え、思想、教育のポイント、想定内容、方法などで紹介できないか。
- ・ 初年次向けビデオ教材の例示について、到達目標ABはインタビュー方式も取り入れられないか。また、データサイエンス・AIの基本的な感覚を織り込んで説明できないか。AIとビッグデータを活用する仕方についての説明などが考えられないか。
- ・ 今後の技術発展など先を見越した考え方や、AIはこんな風に活用します的な例示などができないか。
- ・ 産業界側とのインタビュー形式などでAI活用に興味を持ってもらえるような内容ができないか。
- ・ コンテンツや要素の組合せや事例の紹介について、例えば、fLink、昭和大学、西武信用金庫などインタビュー形式を交えて作成できないか。

(2) 専門科目と連携したビデオ運営ガイドについての意見

- ・ テーマに情報活用能力の育成を組み込み、授業を行う。授業では、どこまでの能力育成を目指すのか（入れられるのか）、それ以上は、別の教員（授業）で対応を考えてはどうか。
- ・ 教員により方法・思考が異なることもあり、一人の教員で到達目標ABC全てを対応する必要はない。
- ・ テーマがポイントで、現場で切実な問題となっていることを2・3年で気づかせるため、どのように利用していくのか、どのように伝えていくのが課題で、テーマ選びは難しいと考える。文系でも、SEやプログラマと話ができる程度を目標に進めてはどうか。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回は、5月19日17時から合同会議を開催し、①初年次向け反転授業を導入したビデオ授業ガイド、②初年次向けビデオ教材の例示について、研究を進める予定にしている。